



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 株式会社 フジトミ

上場取引所 東

コード番号 8740 URL <https://www.fujitomi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細金 英光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 新堀 博

TEL 03-4589-5500

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	835	6.4	181		172		163	
2018年3月期第2四半期	892		190		170		236	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 137百万円 ( %) 2018年3月期第2四半期 206百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	24.65	
2018年3月期第2四半期	35.75	

当社は、2018年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2018年3月期第2四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

当連結会計年度より「営業外収益」に計上していた「くりっく振興料」を「営業収益(その他)」に含めて計上することに変更したため、2018年3月期第2四半期の「営業収益」「営業利益」については、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	7,343	2,355	32.1
2018年3月期	7,199	2,513	34.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,355百万円 2018年3月期 2,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		3.00	3.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

当社は、2019年3月期の的確な連結業績予想を行うことが難しいため、連結業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に連結業績速報を開示させていただくこととしております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	6,860,000 株	2018年3月期	6,860,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	235,390 株	2018年3月期	235,390 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	6,624,610 株	2018年3月期2Q	6,624,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2019年3月期の的確な連結業績予想を行うことが難しいため、連結業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に連結業績速報を開示させていただくこととしております。

(日付の表示方法の変更)

当連結会計年度より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
3. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復が続いておりますが、一方では自然災害が相次ぎ、経済に与える影響が懸念されています。

為替市場は、ドル円相場が米国の金利上昇から円安に転じ、3月末の106円台から5月下旬には110円台となり、その後は5月末にかけて米国の通商政策への懸念や米朝首脳会談の中止発表を巡り一旦円高に振れましたが、概ね110円前後で推移しました。7月以降もトランプ米大統領のドル高牽制などにより円高に振れる場面があるものの、緩やかな円安傾向となり、9月末は113円台となりました。また、証券市場は、好調な企業決算を受けた米国株の上昇や北朝鮮情勢の緊張緩和などから、5月下旬に日経平均株価は23,000円台を回復し、5月末にかけて一時22,000円を割り込むものの、その後は堅調な米経済指標や円安進行を受けて6月中旬には再び一時23,000円台となりました。6月中旬以降は米中貿易摩擦の激化や近畿地方で発生した地震の影響などから警戒が高まり22,000円台前半で推移するなど、全般的には上値の重い展開が続き、9月中旬以降は、米国株の上昇とトルコの中央銀行が大幅利上げに踏み切ったことをきっかけに円安・ドル高が進んだことを好感した買いが入り、9月26日は8カ月ぶりに24,000円台を回復しました。なお、東京金融取引所の取引所為替証拠金取引(くりっく365)の取引数量は1,590万枚(前年同四半期比12.3%増)、取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)は213万枚(同42.1%減)となっております。

商品先物市場は、金価格(先限)が4月下旬までは円安が影響して上昇しましたが、米国の好景気、長期金利の上昇などを背景とするドル高や、米中貿易摩擦の懸念から、年初以来の安値を更新したニューヨークCOMEX金に追随するかたちで下げ幅を拡大し、更に8月に入り新興国通貨の急落を受けてドル買い・金売りの動きが強まるなか、8月16日に2016年10月以来の安値となる4,112円まで値を下げました。その後は円安に支援されて9月下旬に一時4,300円台を回復する展開となりました。ドバイ原油(先限)は、米国による対イラン制裁再開に伴うイランの減産懸念などから5月下旬に約3年5ヵ月ぶりの高値52,190円をつけました。その後は6月下旬にかけて米中貿易摩擦の影響などから急落し一時47,000円を割り込みましたが、米国原油在庫の大幅減少や石油精製設備の稼働率上昇の発表を受けて反騰し、6月末には50,750円で引けました。7月は一時51,880円となるものの8月中旬まで緩やかな下落傾向となり、8月16日に再び一時47,000円を割り込みました。その後は米政府の11月からのイラン石油輸入停止要請により、石油世界の原油供給量は減少するとの見通しから9月末には54,000円台半ばまで急伸する展開となりました。なお、オプション取引を含む国内商品取引所の総出来高は1,127万枚(前年同四半期比10.3%減)、主な市場別出来高は貴金属市場が756万枚(同4.8%減)、石油市場が268万枚(同16.4%減)、農産物・砂糖市場が19万枚(同47.5%減)となっております。

このような環境の中、「投資サービス事業」につきましては、投資セミナーの開催やラジオ番組の提供及び取次ぎ受託契約獲得の推進などによる商品先物取引、取引所為替証拠金取引(くりっく365)、取引所株価指数証拠金取引(くりっく株365)の受託業務の収益基盤の強化を図り、「生活・環境事業」につきましては、顧客意向に沿った総合的な提案セールスを実践するコンサルティングスキルの向上と連結子会社のふくろう少額短期保険㈱の経営立て直し及び少額短期保険商品販売促進を通じての保険事業の安定的な成長に努め、不動産業では、安定収益確保を目的とした賃貸物件を保有しながら、中小不動産業者との協業強化や競売物件入札などの新しい仕入れルート開拓などにより、優良な短期転売案件の新規発掘に注力しました。また、保険事業部とふくろう少額短期保険㈱は本年8月に業務連携を強化することを目的として、新たな事務所を借り上げ、同一事務所への移転を行いました。

当社グループは投資サービス事業と生活・環境事業の二本柱の体制で多様な質の高いサービスの提供を行い、顧客拡大を志向して中長期的に安定した収益基盤の確立を目指しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の商品先物取引受託業務の受取手数料は388百万円(前年同四半期比8.0%減)、金融商品取引受託業務の受取手数料は287百万円(同98.7%増)、商品先物取引自己売買業務の売買損益は83百万円の損失(前年同四半期は67百万円の損失)、くりっく振興料等は5百万円(前年同四半期比274.3%増)となりました。また、保険募集業務の受取手数料は77百万円(前年同四半期比8.4%増)、保険料等収入は49百万円、不動産の賃貸料収入は23百万円(同9.9%増)、不動産販売の売上高は80百万円(同71.4%減)、LED照明等の売上高は5百万円(同5.4%減)、その他収益は0百万円(同40.6%減)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益835百万円(前年同四半期比6.4%減)、営業総利益710百万円(同14.5%増)、営業費用891百万円(同10.1%増)、営業損失181百万円(前年同四半期は営業損失190百万円)、経常損失172百万円(前年同四半期は経常損失170百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は163百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失236百万円)となりました。

(注) 当第2四半期累計期間の営業収益の内訳は9頁の補足情報に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の減少136百万円、販売用不動産の増加200百万円、保有価証券の減少117百万円、委託者先物取引差金の増加344百万円、有形固定資産の減少139百万円などにより、前連結会計年度末に比べ144百万円増加し、7,343百万円となりました。

負債合計は、預り証拠金(代用有価証券を含む)の減少30百万円、受入保証金の増加324百万円などにより、前連結会計年度末に比べ301百万円増加し、4,988百万円となりました。

また、純資産合計は、利益剰余金の減少183百万円、その他有価証券評価差額金の増加25百万円などにより、前連結会計年度末に比べ157百万円減少し、2,355百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は32.1%(前連結会計年度末は34.9%)、1株当たり純資産額は355.60円(同379.34円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、当社グループの主要な事業である商品先物取引業及び金融商品取引業の業績が市場動向等に大きく左右されることや、不動産の賃貸及び不動産の販売についても確度の高い業績予想を行うことが難しいことなどにより、的確な業績予想を行うことが困難なため、業績予想を開示せず、四半期毎に迅速に業績速報を開示させていただくとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,008,732	871,965
委託者未収金	44,185	57,551
売掛金	2,690	3,568
有価証券	26,931	29,634
商品	3,890	62
原材料及び貯蔵品	1,299	-
販売用不動産	167,017	367,450
仕掛販売用不動産	78,595	77,404
保管有価証券	388,178	270,440
差入保証金	3,409,087	3,436,017
委託者先物取引差金	541,578	885,814
預託金	35,000	35,000
その他	94,265	128,316
貸倒引当金	△806	△1,134
流動資産合計	5,800,644	6,162,091
固定資産		
有形固定資産	533,192	394,107
無形固定資産	91,897	84,133
投資その他の資産		
投資有価証券	257,520	208,334
関係会社株式	32,937	33,408
破産更生債権等	138,410	127,335
長期差入保証金	388,903	374,229
その他	87,098	89,241
貸倒引当金	△131,113	△128,969
投資その他の資産合計	773,755	703,579
固定資産合計	1,398,845	1,181,820
資産合計	7,199,490	7,343,911

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,674	-
未払金	83,389	75,823
保険契約準備金	4,741	4,741
未払法人税等	8,934	8,271
預り証拠金	2,026,025	2,113,747
預り証拠金代用有価証券	388,178	270,440
受入保証金	1,821,682	2,145,823
その他	85,826	90,575
流動負債合計	4,421,452	4,709,423
固定負債		
退職給付に係る負債	184,778	198,741
その他	51,174	50,853
固定負債合計	235,952	249,594
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	28,513	28,513
金融商品取引責任準備金	506	595
特別法上の準備金合計	29,020	29,109
負債合計	4,686,424	4,988,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,200,000	1,200,000
資本剰余金	312,896	312,896
利益剰余金	1,101,600	918,397
自己株式	△39,556	△39,556
株主資本合計	2,574,940	2,391,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△61,980	△36,016
その他の包括利益累計額合計	△61,980	△36,016
非支配株主持分	104	62
純資産合計	2,513,065	2,355,783
負債純資産合計	7,199,490	7,343,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業収益		
受取手数料	638,770	753,684
売買損益	△67,254	△83,268
売上高	296,737	86,304
賃貸料収入	21,108	23,206
保険料等収入	-	49,074
その他	2,956	6,115
営業収益合計	892,319	835,117
売上原価	272,113	124,682
営業総利益	620,205	710,434
営業費用		
取引所関係費	24,223	51,421
人件費	537,486	551,449
減価償却費	13,093	17,604
その他	235,538	271,472
営業費用合計	810,341	891,948
営業損失(△)	△190,136	△181,514
営業外収益		
受取利息	2,653	2,847
受取配当金	3,065	2,345
貸倒引当金戻入額	8,091	1,375
持分法による投資利益	3,324	1,251
その他	2,589	2,234
営業外収益合計	19,724	10,054
営業外費用		
賃貸料原価	400	592
その他	-	57
営業外費用合計	400	650
経常損失(△)	△170,812	△172,110
特別利益		
固定資産売却益	-	6,999
負ののれん発生益	16,989	-
投資有価証券売却益	319	4,882
貸倒引当金戻入額	-	441
特別利益合計	17,308	12,323
特別損失		
固定資産売却損	48,363	-
固定資産除却損	110	412
投資有価証券売却損	2,399	-
電算機費	29,520	-
金融商品取引責任準備金繰入額	-	89
特別損失合計	80,394	501
税金等調整前四半期純損失(△)	△233,898	△160,288
法人税、住民税及び事業税	2,949	3,083
法人税等合計	2,949	3,083
四半期純損失(△)	△236,847	△163,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	△42
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△236,847	△163,329



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△236,847	△163,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,894	25,963
その他の包括利益合計	29,894	25,963
四半期包括利益	△206,953	△137,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△206,953	△137,365
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 営業収益の状況

① 投資サービス事業

イ. 受取手数料

(単位:千円)

区 分		前年同四半期(連結) (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期(連結) (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前年通期(連結) (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	13,892	7,815	22,473
	貴金属市場	376,031	361,412	714,985
	ゴム市場	9,096	4,135	14,050
	石油市場	23,509	15,175	42,599
	商品先物取引計	422,529	388,538	794,108
金融商品取引	取引所為替証拠金取引	4,857	129,629	67,907
	取引所株価指数証拠金取引	140,004	158,149	308,987
	金融商品取引計	144,861	287,778	376,894
合 計		567,391	676,316	1,171,003

ロ. 売買損益

区 分		前年同四半期(連結)	当第2四半期(連結)	前年通期(連結)
商品先物取引	農産物・砂糖市場	3,506	—	3,778
	貴金属市場	4,703	△36,245	13,030
	ゴム市場	5,671	210	3,862
	石油市場	△81,135	△47,233	△73,736
	商品先物取引計	△67,254	△83,268	△53,065
合 計		△67,254	△83,268	△53,065

ハ. その他

区 分	前年同四半期(連結)	当第2四半期(連結)	前年通期(連結)
くりっく365振興料等	1,384 ※	5,181	3,559 ※

<投資サービス事業合計>

区 分	前年同四半期(連結)	当第2四半期(連結)	前年通期(連結)
営業収益	501,521 ※	598,230	1,121,497 ※

※ くりっく365振興料は、従来「営業外収益」に計上しておりましたが、当連結会計年度より「営業収益(その他)」に含めて計上することに変更したため、前年同四半期(連結)及び前年通期(連結)については、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値に基づき算定しております。

② 生活・環境事業

イ. 受取手数料

(単位:千円)

区 分	前年同四半期 (連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (連結)
生命保険・損害保険の募集	71,378	77,367	173,113

ロ. 売上高

区 分	前年同四半期 (連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (連結)
不動産販売	281,089	80,456	369,447
映像コンテンツ配信	9,468	—	9,468
LED照明等	6,179	5,848	9,996
合 計	296,737	86,304	388,911

※ 映像コンテンツ配信は2017年7月に事業を廃止しております。

ハ. その他

区 分	前年同四半期 (連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (連結)
不動産賃貸料収入	21,108	23,206	43,029
保険料等収入	—	49,074	44,462
その他	1,572	933	16,028
合 計	22,681	73,214	103,520

<生活・環境事業合計>

区 分	前年同四半期 (連結)	当第2四半期 (連結)	前年通期 (連結)
営業収益	390,797	236,886	665,545